

中央アルプス 正沢川幸ノ川

小暮

【日時】2007年7月28日(土)

【メンバー】小暮(L)、木下、棚橋、矢野

越後方面の天气が悪いので、中央アルプスへの転進。昨年も木下さん、矢野君とは同じように越後から中アに転進したこともあり、転進案としていいのかもしれない。矢野君とは前夜に諏訪SAで合流。上りのSAに矢野車をデポして下りのSAまでトンネルと藪を分けてやってきてくれた。矢野君には大変だが、なかなか良い？合流方法だ。

正沢川へは、以前に細尾沢を遡行したことがあり2回目になる。今回もスキー場の駐車場に車を止め、登山道を少し歩いて入渓だ。堰堤を二つ越えると明るく開けた谷に小滝が連続して現れる。難しいところもなく楽しく登って行ける。するとスダレ状の連瀑帯が出てきて非常に美しいところだ。今回のメンバーは足並みが揃っており、ザイルを出す事も無く登って行ける。初心者を同行したとしてもお助け紐や、場合によ



ノーザイルで登れる楽しい滝

てはザイルを使えば安全に遡行できる。その後も次から次へと登れる滝が出てくる。結局、大きく巻くこともなく全ての滝を登っていくことが出来た。困難性を求める向きには少々物足りない感もあるが、沢を始めたばかりの人がいたらこの沢で一気に沢好きになるに違いない。

沢は真っ直ぐに高度をぐんぐん稼ぎ、出発地点のスキー場が真後ろに小さく見える。そして藪漕ぎも無く、トラバース道の登山道に出た。ここで沢を終了しても良かったのだが、時間も早いので麦草岳まで源頭を詰めてみることにする。麦草岳は麓からの登山道からややはずれているので、こんな機会でないとは登ることはないだろう。

山頂では風が出ていてちょっと寒い。早々に引き上げて福島Bコースへと下山する。休憩した七合目非難小屋は新しく増築されて綺麗になっていた。

【行程】

7/28

登山口(8:00)～c.1850 二俣 (10:00)
 ～登山道(12:00/20)～麦草岳(13:05)
 ～七合目非難小屋(13:50)～
 登山口(15:50)

【地図】木曾駒ヶ岳

【グレード】2級



明るくて開放的な沢

